

(非公式企画) **アイドリング2015 チーム招待**

御招待状

貴チームを企画連携大会の主催者推薦により、シマノバイカーズフェスティバル2015の「4時間エンデューロ」に下記要件にてご招待致します。

- 記 -

- 一、参加費免除・・・7月25日(土)13:15スタートの「4時間エンデューロ」の2～4人組の無料参加枠への応募の権利。
- 一、交通費等自己負担・・・会場までの交通費や宿泊費は自己負担となります。
- 一、オープン参加・・・賞典の対象外とします。但し、招待チーム間の特別表彰は検討します。

※チーム編成は中学生以上の2～4名でお願いします。またチーム名は、13字以内でお願いします。

※招待枠は「北日本」「関東」「中日本」「関西」「西日本」の5エリアから各1チームを想定しており、応募がそれを超えた場合、バランスを見て5～8チームを選定致します。



4時間エンデューロ
13時15分スタート
7月25日(土)

第25回

主催/株式会社シマノ

開催場所/長野県 富士見パノラマリゾート

シマノ・バイカーズ フェスティバル

開催日

'15 7.25(土) 26日

《アイドリング2015について》

レース+ツーリングの総合MTBイベント「シマノバイカーズフェスティバル」も今年で25回を数えます。そして30周年を見据えた時、当イベントだけでは解決できないMTBの人気の回復や走行環境整備が課題となります。

それには、各地でバランスの取れた自転車ソフトの充実が必要と誰もが考えますが、近道はありません。

そのため、当イベントからの呼び掛けとして、自転車関連団体や各地のイベントとの連携を促進したいと思います。これもベクトルを揃えるには時を要します。

その問題提起の動きを「アイドリング2015」として、非公式ではありますが、各地のMTBイベント主催者への呼び掛けとしています。

※応募方法・・・1)推薦大会名 2)チーム名 3)代表者氏名連絡先 4)メンバー氏名(年齢) 5)チーム戦績・プロフィール(200字以内) 以上5項目を、下記アドレスまたはFAX番号に6月26日までにご連絡ください。

★企画問い合わせ・応募先

Tel.090-5573-9372 Fax.03-6368-4661
mailto:Tenyuken@aol.com

※補足:貴大会の参加チームに声を掛けて頂き、その中で参加希望のチームがあった場合、この招待状をお渡し下さい。その際の選定基準(大会、カテゴリー、成績、他)はオーガナイザーに一任します。

※メールでお送りした呼び掛けの文章を採録します。

2015年6月7日

「SBAAプラス」および「シマノバイカーズフェスティバル30周年記念企画」の為の
自転車走行環境整備の呼びかけ人／石丸英明

★主な企画相談先:日本自転車協会、日本サイクリング協会、自転車普及協会、
株式会社シマノ、および自転車メーカー

-----元のメッセージ-----

差出人: tenyukun@aol.com

送信日時: 2015/6/3, 水, 14:44

件名: シマノバイカーズフェスティバル2015チーム招待について・・・

・・・シマノバイカーズフェスティバル2015チーム招待について・・・

MTB 耐久レース主催者各位

2015 年も半年が過ぎようとしています。
皆様に置かれましては益々ご活躍のことと拝察致します。

さてご連絡申し上げたのは、各地のMTBイベントとの連携を図りたいと考えたからです。

その理由は複数あります。
直接のきっかけは、シマノバイカーズフェスティバル 30 周年記念企画を考える中で、
単独イベントでは解決できない課題が浮上したからです。

その前に「シマノバイカーズフェスティバル」や「サイクルエイドジャパン」をご存知でしょうか？
その内容の予備知識が無いと、今回の話が意味不明になるので、少し説明させて下さい。

「シマノバイカーズフェスティバル」は、
今年で 25 回を数える株式会社シマノが主催する日本最大級のMTBイベントです。
当初、長野県小海町のリゾートシティRE-EXにて、クロスカントリーレースをメインに
ツーリングやシックスホイールコンテストをサブメニューに行っていましたが、
ダウンヒルコースを求めて山梨県高根町のキッズメドウズ清里スキー場(当時)に会場を移し、
風光明媚なロケーションでツーリングメニューがレースとの双璧になりました。
さらに内容の充実を図るため、長野県富士見町の富士見パノラマリゾートに移り、
一時ロードレースも取り入れましたが、レース+ツーリングの総合MTBイベントとして定着しています。

一方の「サイクルエイドジャパン」は、
東日本大震災の復興支援として 2012 年から始まったもので、
一年目は過去に例の無い青森・岩手・宮城・福島・茨木・千葉の6県を跨ぐ規模で、
スタートとフィニッシュが異なるワンウェイツーリングでした。
二年目は岩手・宮城・福島の3県に若干縮小されましたが、
ワンウェイと周回を組み合わせたコースレイアウトでした。
そして3年目は福島1県での開催で周回コースとなって、今年に至っています。
実は仕掛けた自転車協会は壮大なプランを持っていたものの、
公的な立場で実施するには必要以上の道路交通法遵守が前提のため、
誰も想定していなかったハードルの高さが発覚し、それは封印となっているようです。

何故、ここまで説明できるのか？

それは、どちらもアドバイザーとして係っていたからです。

そして、シマノバイカーズでは「山道走行の問題」や「スタッフの育成」が

30周年に向けた課題として浮上し、

サイクルエイドジャパンでは「自転車ソフトの標準化」や「サイクリングネットワークの再整備」がハードルを越える為のキーワードとして潜在していることに改めて気付かされた次第です。

話を戻します。

「単独イベントでは解決できない課題」の第一は、MTB人気の陰りです！

世界的に見ると、スポーツサイクリングとして、ロードバイクもマウンテンバイクも等しく親しまれています。

シマノバイカーズでは、約8000人を集めた時代がありましたが、

今では2000人を集めるのが精いっぱいです。

そして30周年に向けて4000人規模に回復させたいと考えた時、

MTBが売れて、楽しむ場所もあって、さらにイベントのステータスが上がりなげばなりません。

それには各地のMTBイベントとの連携が不可欠と思います。

さらに重要なのは、何故、MTBブームが去ってしまったかを検証することです。

私が思うに、MTBに限りませんが、ソフトの偏りではないでしょうか？

確かにMTBが売れて、その余力で、乗る場所を提供する形でイベントが

雨後の筈のように実施されましたが、果たして参加者のニーズに答えていたのでしょうか？

否です！

それは現状が物語っています。

色々な要因がありますが、レースにしても、ツーリングにしても、

初心者、中級者、上級者、さらに個人なのかグループなのか、

ご近所なのか遠征なのか、そういった組み合わせが成されていなかったように思います。

厳しい言い方になりますが、

自転車の楽しさを理解した人が、自転車ソフトを真剣に考えていないのではないのでしょうか？

または考えたいと思っけていても、

イベントの開催準備にエネルギーを使い果たし、

その次のステージに行くことが出来ないのではないのでしょうか？

さらに解決出来ない課題として、

「自転車の走行環境整備」や「スタッフの育成」、「自転車ソフトの標準化」があり、

その根本として「自転車市民権(≒自転車文化)の獲得」があると思います。

本来なら“公”に呼び掛けるべきことですが、

ハードルを越える為のキーワードが潜在していると書いたように、

まだ、関係者の間で、この課題が共通認識となっていない。

そのため、私案としての呼び掛けとなりますが、

自転車協会とシマノのコラボ企画として下記「プレシーズン2016」を考えており、

その「アイドリリング2015」へ、

皆様のご理解ご協力を賜りたくご案内を申し上げます。

何卒ご高配の程、宜しくお願い致します。

2015 年前半／アイドリング2015

★シマノバイカーズフェスティバル2015(SBF)の耐久レースへ地区代表参加費無料招待として、各地の既存のMTB耐久レースやXCレースの主催者にアプローチしつつ、メーカーや関係者に企画趣旨説明を行います。

2015 年後半／プレシーズン2016企画調整

◎SBF2016を地区大会のひとつに据える「プレシーズン」の企画調整を年内に行い、年明けに概要発表を行う。プレシーズンの目的は、「イベント連携」と「MTB6時間耐久+3種のマップリーディング」の実験実施のため、任意耐久レースの地区大会を4~8会場で連携実施し、2日間開催の決勝大会が具体化できるよう調整を行います。

2016 年春～秋／プレシーズン2016実施概要(案)／春～秋開催

★1月:概要発表(自転車協会新年交歓会) ⇒ 3月:セレモニー(立川プラン内企画) ⇒ 3~7月:地区大会(会場数任意/候補:3月ゴールドカップ・愛知/4月吉備高原MTBフェスタ・岡山/4月MTBフェスティバル緑山・神奈川/5月まどかカップ・山形/5月アキグリーンカップ・長野/6月abcカップ・千葉/7月汗々フェスタ・山口/7月シマノバイカーズ・長野/7月タイオガカップ・滋賀/他・別途リストアップ) ⇒ 10月:決勝大会(関東周辺/第一候補:マイティデューロMTB24時間耐久レース・長野県小海町松原湖高原オートキャンプ場)

※アイドリング 2015として7月25日(土)の4時間エンデューロへの招待状を改めてお送りしますが、上限5チームの招待枠をイベント総責任者より頂戴しています。2次募集の締め切り(6/26)に合わせて意思確認をしますが、もし5チームを超えるようでしたら、より遠方のチームを優先させて頂きたいと思えます。

※尚、このメールは下記大会関係者にお送りしています。もしこのメールで興味をお持ちの関係者様がいらっしゃいましたら、返信を頂ければ幸いです。

☆北日本

「全道 MTB4 時間耐久レース in 上砂川/北海道」「鳥海山グルッと一周 MTB サイクリング/秋田県」「まどかカップ/山形県」「Mad Cross TAKASE/山形県」「SUGO MTB Meeting/宮城県」「たつがね カップ/宮城県」「ジンギスカップ in 磐梯高原/福島県」

☆関東

「a.b.c.cup in 幕張海浜公園/千葉県」「清水公園MTB大会/千葉県」「MTB FESTIVAL in 緑山スタジオ・シティ/神奈川県」

☆中日本

「八海山麓 MTB 大会/新潟県」「A&F 24 時間耐久 MTB CUP in CSC/静岡県」「メリダ・ミヤタカップ 2014 in 東伊豆/静岡県」「はままつ MTB FES/静岡県」「トレイルジャム in Mt.FUJI/山梨県」「白州の森バイクロード/山梨県」「ひらやスーパーマウンテンバイクカップ/長野県」「小海マイティデューロ MTB24 時間/長野県」「AKI GREEN CUP FESTIVAL/長野県」「ゴールドカップ/愛知県」「MTB ジャパンシリーズ・ウイングヒルズ/岐阜県」

☆関西

「勢和多気 MTB レース/三重県」「タイオガカップ/滋賀県」「菖蒲谷 MTB クロスカントリー/兵庫県」

☆西日本

「マウンテンカーニバル八幡浜/愛媛県」「吉備高原 MTB 大会/岡山県」「オフロードフェスタ in 吉井川/岡山県」「汗々フェスタ/山口県」「須美江マウンテンバイク九州大会/宮崎県」「西都原エンデューロ 4 時間耐久/宮崎県」「MTB チャレンジ 90 分/宮崎県」「吉無田 MTB 大会/熊本県」「指宿温泉 MTB5 時間耐久/鹿児島」